



取り組みます!!
「栽培収穫体験」
「家庭菜園応援事業」

②農に親しみ、食への感謝のこころを育む

「食」や「農」への関心や理解を深め、食を大切にする心を育て、家族や仲間と楽しい食事（共食）をすることの大切さを伝える取り組みを進めます。

【指標：農業体験をしたことがある子どもの割合（小学生）】

現状値（H 23 年度）	目標値
81.2%	89%以上

①健全な食生活の実践

食への関心を高め、さらに、食に関する知識や判断力を身に付けることで、生涯にわたって健全な食生活の実践につながる取り組みを進めます。

【指標：毎日朝食を食べる人の割合】

年 代	現状値（H 23 年度）	目標値
40 歳代	84.9%	93%以上
30 歳代	75.5%	83%以上
20 歳代	60.3%	66%以上
高校生	84.3%	93%以上
中学生	80.5%	100%（理念目標）
小学生	92.3%	100%（理念目標）
就学前	94.8%	100%（理念目標）

食育の取り組み

4つの柱

④食育の輪を広げよう

地域や食に関わる団体や事業者、教育関係者、行政が協力し、食育計画の目標を共有することで、食育がより一層みなさんの暮らしに根付くことをめざしています。

【指標：食育に関わりをもったことがある人の割合（成人）】

現状値（H 23 年度）	目標値
51.3%	100%（理念目標）

取り組みます!!
「食を次世代に伝える
プロジェクト」

③丹波の恵みを活かしたまちづくり

食文化を伝える仕組みづくりや地場農産物の活用促進、地場産食材を日々の食事に取り入れるなど、地産地消の推進に取り組めます。

【指標：地元でとれた農産物を食べる人の割合（成人）】

現状値（H 23 年度）	目標値
65.6%	72%以上

つながる つたえる

丹波の食と農



「丹波市食育推進計画（第2次）」を策定しました！

計画の期間：平成 25 年度～ 29 年度

市では、食育推進計画（第1次）において、市民一人ひとりが生涯健康で健やかに暮らすことができることをめざして食育を推進してきました。しかし、食育の取り組みに広がりが見られるものの、依然として若い世代の食への意識が低いことや食との関わりの深い生活習慣病が課題となっています。2次計画では、丹波の自然の恵みを十分に活用し、食育関係者・団体との連携を強化し、生活の場である家庭や地域に向けて食育活動を展開します。そうして、一人ひとりが食育の取り組みで得た知識や体験を日々の生活の中に取り入れ、実践できるよう進めていきます。

取り組みます!!
「しっかり朝食
プロジェクト」

キーワードは・・・

つながる つたえる 丹波の食と農

家族や仲間とともに
いただきます！
ごちそうさま！
よろしゅうおあがり！

みんなで食べると
おいしいね

じいちゃん
がつくった
米や野菜
おいしいね

お母さん
この煮物いい
お味！つくり
方教えて

よく噛んで、
残さず食べるんだよ

まんまー
おいちい！



《毎月19日は“食育の日”》

～家族そろって食事をしましょう～

＊家族一緒に食事は、互いの心と体を思いやる大切な時間です

＊それぞれが自分の好みを優先すると、栄養バランスが崩れがちです

＊家族でテーブルを囲み、同じ食事をする機会を増やしましょう